



社会保険直方病院だより

# はるか

■平成26年(2014)1月発行 社会保険直方病院広報委員会編集

〒822-0024  
福岡県直方市須崎町1番1号  
電話(0949)22-1215(代表)  
HPアドレス <http://www.nogata-hp.jp/>

[Haruka]

2014

1月

第17号

## 院外報の名称を変更致しました

JR直方駅前に移転新築し1年半が経ち院外報もリニューアルすることになりました。より親しまれる名称をと募集を行い、「はるか」に決定致しました。「はるか」には、当院が永遠に発展して行くように願いが込められています。今まで以上に院外報「はるか」をよろしくお願い致します。

- P 01 新年のご挨拶
- P 03 ご存じですか?
- P 06 病棟紹介
- P 07 部門紹介
- P 08 健康レシピ
- P 09 ご案内・お知らせ
- P 11 診療案内

### [医療理念]

- 一、患者中心の医療
- 一、医療の質の向上
- 一、地域社会に合った手づくりの医療
- 一、安心と信頼を持たれる病院づくり



新	年	の
ご	挨	拶



院長 坂本 茂

あけましておめでとうございます

当院も直方駅前に移転してから、早いもので2年目になりました。

駅前の整備もかなり進んできました。

移転からの1年は、外来の混雑の問題、駐車場の問題、種々なシステムの不慣れによる問題、予約制の不徹底、看護師の不足に伴う問題、その他があり、皆様方には大変ご迷惑をおかけしましたが、職員は懸命に対応してきました。無我夢中だったかもしれません。

最近では、引っ越しに伴う問題はなくなり、落ち着いてまわりを観察し、改善すべき点を見出し、計画的に改善を実行する余裕が出てきたように思います。

当院の使命はいうまでもなく、地域の皆様の「安全」「安心」です。

この使命を全う出来るように、職員は常に自己の能力の向上に努め、また、当院の医療の質の改善をたえず行っていきたいと思えます。

25年度の各部門の活動目標に「研修」を挙げておきました。

また皆様方のご意見、アドバイスは当院をよりよくするために非常に大事なものです。

今年も何なりとご意見ください。



事務長 篠原満晴

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当院がJR直方駅前に移転し、名称も「社会保険直方病院」と変更してから、早いもので1年半が経ちました。今まで支えてくださった地域の方々や関係者の皆様、職員一同には心より感謝申し上げます。まだまだ至らない面も多々ありますが、これからも地域のニーズに応えるべく、皆様からいただきます様々なご意見やご要望は、順次検討してまいります。

今後も、地域の皆様に満足して頂き、職員が気持ち良く働ける病院として地元を代表するすばらしい病院になれるよう努力を重ねてまいります。

さて、私ごとではございますが、昨年7月に当院の事務長に就任いたしました。これまでの「社会保険筑豊病院」の素晴らしい伝統継承とこれからの「社会保険直方病院」としての礎を築き上げて行くこの大事な時期での事務長という職務拜命は、その果たすべき役割の重さを切に実感するとともに職務の大任に身が引き締まる思いでございます。

今年の干支「午」を含むことわざに「驥<sup>キ</sup>は一日にして千里なるも、駑<sup>ド</sup>馬<sup>バ</sup>も十<sup>ジュウ</sup>駕<sup>ガ</sup>すれば之<sup>オノ</sup>に及ぶ」があります。足の遅い馬であっても、十日間走り続ければ一日に千里も走る足の速い名馬に追いつくということから「目標を定めて、それに向かって努力し続けることの大切さ」を説いたことばであります。私も微力非才の身ではありますが、地域の皆様から選ばれ、信頼される病院を念頭に置き、努力を続ける所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のますますのご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 第14回ご存知ですか？

# C型肝炎とは？

内科部長 東 宣彦

C型肝炎は、C型肝炎ウイルス(HCV)という病原体が感染し、発症する病気です。感染初期には症状がないことも多く、知らないうちに病状が進行し、肝硬変になったり、肝がんができたりすることにより、死に到ることがある病気です。また治療しても効果がこれまでの治療では効果がなかった人や副作用のため治療を続けることができなかった人も多く、また自分がかかっていることを知らない人も多くいると言われています。近年、治療が進み、少ない副作用で高い治療効果が得られるようになって来ています。今まで、高齢であることや他の病気を持っているため治療ができなかった人や、副作用で治療をやめた人、以前の治療を最後まで行ったものの効かなかった人にも希望が出てきています。また、肝炎検査を受けたことがない人も是非検査を受けましょう。

### ①. C型肝炎ウイルスとは？

C型肝炎ウイルス(HCV)が発見されたのは1989年であり、まだ25年ほどしかたっていない、比較的新しいウイルスです。直径が1mmの約2万分の1と非常に小さな病原体で、主に血液を介して、人から人に感染します。日本では、戦後には合法であったヒロポン注射のため、注射器や注射針の使い回しにより広がったと言われています。その後は輸血や血液製剤（人間の血液を原料として作られる薬）にて多くの人が感染をしたという歴史があります。また、昔は血液を介して病気が感染するといった意識が低かったことにより、使用した医療器具の消毒が不十分であったため、血液が付着した注射針や手術器具などの医療器具を介した医療行為での感染もありました。HCVの発見とその後の診断技術の進歩やきちんとした消毒が行われるようになったため、医療行為でHCVに感染する可能性はほとんどなくなっています。ピアスの穴あけで感染した事例などが報告されています。通常の日常生活で感染することはごくまれですが、血液が付着する可能性のある、カミソリ、歯ブラシ、爪切りなどは家族でも共用しない方が良いと思われます。

### ②. C型肝炎の検査とは？

血液検査を行うことで、HCVに感染しているか否かがわかります。まず、HCV抗体検査を行い、その後必要に応じてHCV遺伝子検査（HCV RNA検査）まで行い、感染の有無を判断します。C型肝炎に感染している可能性があるため、検査がすすめられる人たちを以下にあげます。

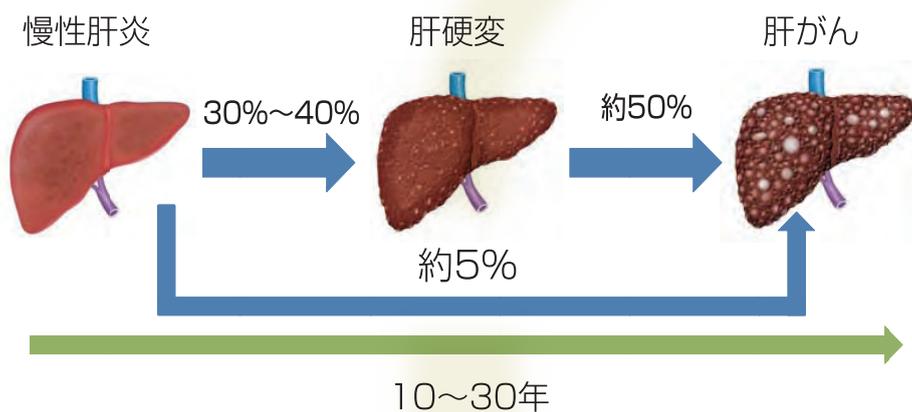
- a. 1992（平成4）年以前に輸血を受けた方
- b. 大きな手術を受けた方
- c. 血液凝固因子製剤を投与された方
- d. 長期に血液透析を受けている方
- e. 臓器移植を受けた方
- f. 薬物濫用者、入れ墨をしている方
- g. ボディピアスを施している方
- h. その他（過去に健康診断等で肝機能検査の異常を指摘されているにもかかわらず、その後肝炎の検査を実施していない方等）

国内にHCVに感染した人が200万人ほどいると言われ、まだ自分が感染していることを知らない人も多くいます。前の項にも書いたように、日常生活で感染する可能性は低いいため、一度感染していないことがわかればほぼ安心できますので、上記以外の人たちも一度は検査を受けることをおすすめします。感染していても症状がない人も多く、病状が進行して初めてわかることも少なくありません。福岡県では、B型肝炎とC型肝炎をあわせた肝炎無料検査を行っています。今まで肝炎検査を受けたことがない人であれば、当院を含めた直方市内の多くの医療機関や保健所で検査を無料で受けることができます。

### ③. C型肝炎ウイルスに感染したらどうなるか？

C型肝炎ウイルス(HCV)に感染すると、数ヵ月間の潜伏期間の後、急性肝炎を発症し、体がだるい、食欲が落ちる、吐き気がするなどの症状がでることがありますが、症状が出ないこともあります。その中で、3割ほどはウイルスがなくなり治りますが、7割ほどが持続感染に移行します。持続感染とは、ウイルスが体からなくならずに肝臓の中に住みついた状態となり、その後多くの場合は慢性肝炎となります。慢性化すると自然に治ることは稀と言われています。慢性肝炎の状態では、体がだるい、疲れやすいといった症状が出ることもありますが、症状が出ないこともあります。軽い肝炎のまま進行しないこともありますが、約7割は徐々に肝臓が硬くなっていきます。治療しなければ、10年から30年で3割から4割の人が肝硬変になります。肝硬変になると約半数の人に肝がんができますが、慢性肝炎の状態から肝がんができることもあります。日本人の肝がんの約7割がC型肝炎ウイルスに感染した人と言われています。肝硬変になると肝がんができやすくなるだけでなく、食道静脈瘤や肝性脳症といった命に関わるような合併症もおきやすくなります。

## C型肝炎の経過



#### ④. C型肝炎の治療法は？

C型肝炎にはワクチンなどの予防法はありません。C型肝炎にかかっていることがわかったら、肝硬変になったり、肝がんになったりするのを防ぐために治療をすることが望めます。治療法としては、C型肝炎ウイルス自体を体からなくす抗ウイルス療法と、炎症を抑えて病期の進行を遅くする治療に分けられます。現在、C型肝炎に対する抗ウイルス療法はインターフェロンという注射薬を使った治療が主に行われています。C型肝炎ウイルスの中にも型があり、日本人に最も多いのが1型であり、次が2型です。この型と血液中のウイルス量により治療効果が変わってくるために、治療法も異なります。インターフェロンを使った治療では、残念ながら日本人に1型が効きにくく、ウイルス量が多いほど効きにくくなりますので、1型でウイルスが多い人たちを難治群と言われます。1992年から世界に先駆けて日本でC型慢性肝炎に対するインターフェロン治療が認可されました。この時点で難治群での治療率は5%ほどと非常に低いものでした。その後、併用するのみ薬の開発され、インターフェロン注射も当初は週に3回から7回うつ必要がありましたが、週に1回で良いペグインターフェロンが開発されたことにより、治療効果も20年かけて徐々に良くなりました。現在は、難治群に対しては、ペグインターフェロンと飲み薬を2種類使った、3剤併用療法が中心となっています。2011年に3剤併用療法が認可され、70%以上の人が治るようになりましたが、様々な副作用があり、限られた病院でしか治療が行えませんでした。しかし、2013年12月に発売された新薬を用いた治療では、副作用が少なくなったうえに、治療効果も良くなり、80%以上の人が治るようになりました。現在も新薬の開発が行われており、近いうちに飲み薬だけの治療も可能になる見込みです。

難治性C型慢性肝炎(1型・高ウイルス量)  
に対する治療効果の進歩



C型肝炎の治療は日々進歩しています。今まで副作用が問題で治療できなかった人、実際に治療をしたものの副作用でやめてしまった人、最後まで治療を受けたものの治らなかった人も治る可能性が出て来ています。これを機会に治療を考えてみてはいかがでしょうか。また、C型肝炎の検査をしたことがない人も一度は検査を受けることをおすすめします。



# 病棟

紹しょうかい介

## 4階病棟について

看護師長 鎌 明美

私達4階病棟は主に整形外科、内科の患者さんを受け持ち、笑顔と優しさをモットーに日々、患者さんと向き合っています。

スタッフは、看護師23名、准看護師8名、看護助手5名、クラーク1名とやや大所帯で若干にぎやか(?!)な病棟です。

病棟目標で、早期離床を目指している一方で、転倒の危険も増加します。安全な入院生活を送っていただけるように転倒転落カンファレンスを開催し、事故の防止に努めています。

内科では、糖尿病治療や循環器疾患、呼吸器疾患など様々です。

退院される患者さんからは、「先生が毎朝、来てくれるので安心できた」「看護師さんによくしてもらった」というご意見を多数いただき、その言葉を毎日の糧にしています。

4Fのデイルームからは、直方駅に発着する電車、春には駅周辺の桜並木、山並みがとってもきれいで、病室の向きによっては、夏に花火大会を見ることもできます。患者さんの中には、デイルームでの食事を楽しみにされている方も多く、大人気です!

ご自宅への退院が困難な方には、患者さんご本人の意向を汲みながら、地域連携室やリハビリとの連携を密にし、今後のよりよい生活環境を真剣に検討しています。

もし、入院される機会や御面会に来られることがありましたら、是非、病棟の雰囲気を感じてみてください。必ず、パワーをもらえる事間違いなし!



## 部門紹介

## 診療情報管理室の役割

診療情報管理士 川田 知久

診療情報管理室は、診療記録・診療データを適切に管理・運用し、情報活用の支援を行う部署です。現在は専任の診療情報管理士1名と他スタッフ1名の2名で業務を行っています。

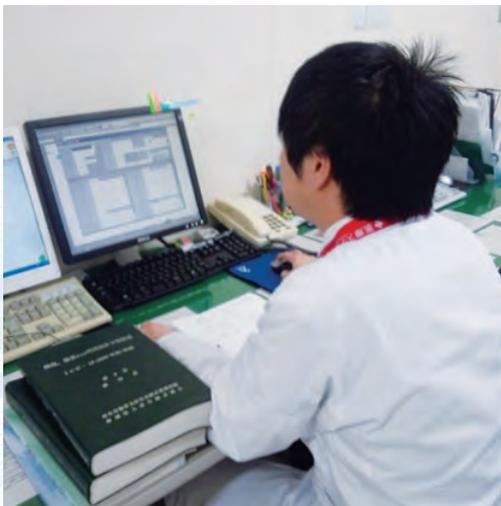
診療記録は、診療経過と医学的な診断の根拠となり、実施した診療内容の確認、チーム医療の推進や情報開示などにおいて利用されるものです。また、診療情報管理室で収集・保管されている記録やデータは、診療以外でも提供されます。例えば、医師、看護師および各種検査部門の技師などの教育や研究のため、さらに病院経営上必要なデータの提供、レセプト請求、各種証明書などを作成時の参考資料となります。

このようなさまざまな場面において、より良質な情報を活用できるように、診療情報管理士は回収した診療記録を、点検（監査）・製本・収納し、診療記録で得られた疾病・手術・処置等あらゆる情報を収集分析して分類・管理を行っています。

診療情報管理室は、記録を保管・管理しているところですが、記録を閲覧できる場所も設置しています。研究等のために過去の記録を用意し、医師や看護師、その他のスタッフが利用しやすいように環境整備を行っています。

もちろん、診療情報管理室が取り扱う情報は、患者さんの大切な個人情報、言い換えれば重要な機密事項です。スタッフ全員が慎重に業務を行ない情報の紛失や漏洩の防止に努めています。

診療情報管理室は患者さんと接する機会が非常に少ない部署です。ですが患者さんの大切な情報を守り、適切に管理・運用を行う「診療情報」の分野で、地域医療に貢献していきたいと日々業務に取り組んでいます。





## からだを冷やさない あったかメニュー

栄養科長 野見山 久美

新年を迎え寒い日が続いていますがお変わりありませんか。  
この時期は風邪をひいたり、インフルエンザが流行したりと体調をくずしやすいものです。  
風邪をよせつけないために、栄養バランスの良い食事をこころがけ、適度な運動と休養をとりましょう。

(栄養バランスの良い食事をとるポイント)

**\*基礎体力をつけ抵抗力を高める**

肉、魚、卵などの良質なタンパク質を多く含む食品を摂る。

**\*鼻やのどの粘膜を保護する**

うなぎ、チーズ、ほうれん草などの緑黄色野菜に含まれるビタミンAを多く含む食品を摂る。

**\*ストレスに対する抵抗力を高める**

キウイフルーツ、みかん、いちご、ブロッコリー、ほうれん草などのビタミンCを多く含む食品を摂る。

**\*消化を助ける働きや殺菌効果もあり、身体を温める**

ねぎ、にら、にんにく、たまねぎ、生姜、唐辛子などの食品を摂る。

今回は体を冷やさない、あったかメニューを紹介します。

### 【 肉団子と白菜の中華煮込み 】



(作り方)

- ①Aの材料を合わせてよく練り、一口大の団子にして、油を熱したフライパンで焼く。
- ②白菜、人参はせん切りにして、油で炒める。
- ③ひたひたのスープを火にかけ、②と3cmに切ったほうれん草、春雨を入れてひと煮立ちさせる。
- ④塩、しょうゆ、酒で味を整え、①を加えて、水溶き片栗粉でとろみをつける。

(材料) 4人分

豚肉ももひき肉	240g
ねぎ	80g
生姜	1/2片
A 塩	1g
卵	40g
パン粉	25g
牛乳	大さじ 1
油	大さじ 3
白菜	400g
人参	40g
油	大さじ 1
ほうれん草	120g
春雨	20g
ブイヨン	4g
塩	小さじ 1/2
酒	小さじ 1
しょうゆ	小さじ 2
片栗粉	大さじ 1 1/2
水	50cc

# ご案内・お知らせ

## 予約の変更について

診察予約日時の変更を下記時間にて電話受付しております。

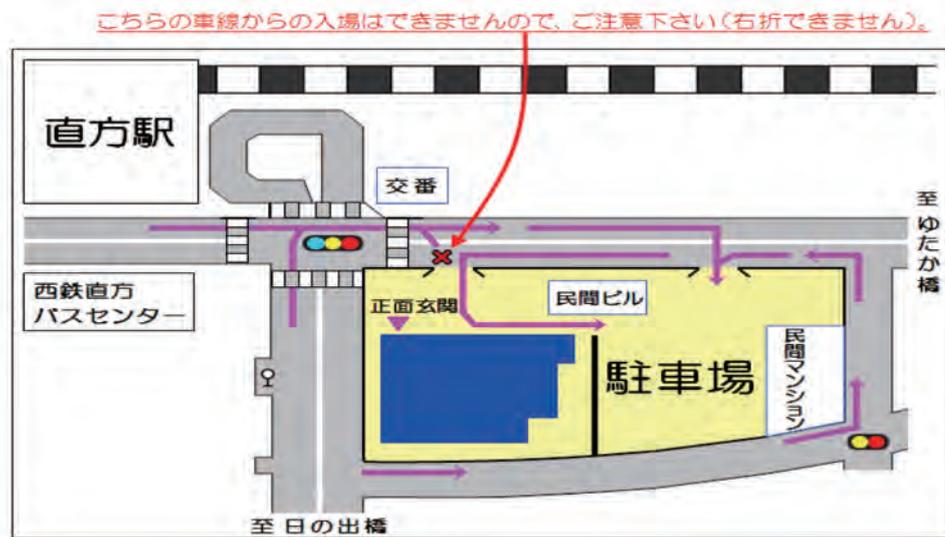
月曜日～金曜日：13時30分～16時30分（但し、土日祝祭日除く）

注) ご希望の日時に変更出来ない場合もあります。

注) 変更を希望される場合、残薬の不足にご注意ください。



## 病院駐車場入り口のご案内



## 各種健康診断について

当院は平成25年度から各団体の健診実施指定機関になりました。

- ・直方市がん検診指定機関
- ・全国健康保険協会けんぽ生活習慣病予防健診指定機関
- ・直方商工会議所会員健康診断指定機関

人間ドック・生活習慣病予防健診・健康診断は、専門職が個人にあったコースやオプションのアドバイスを行い、充実した健診内容になるようご希望の相談に応じます。

お申し込み・お問い合わせ先：(担当 宮原)

予約に関しましては、随時お問い合わせ下さい。

## 糖尿病教室

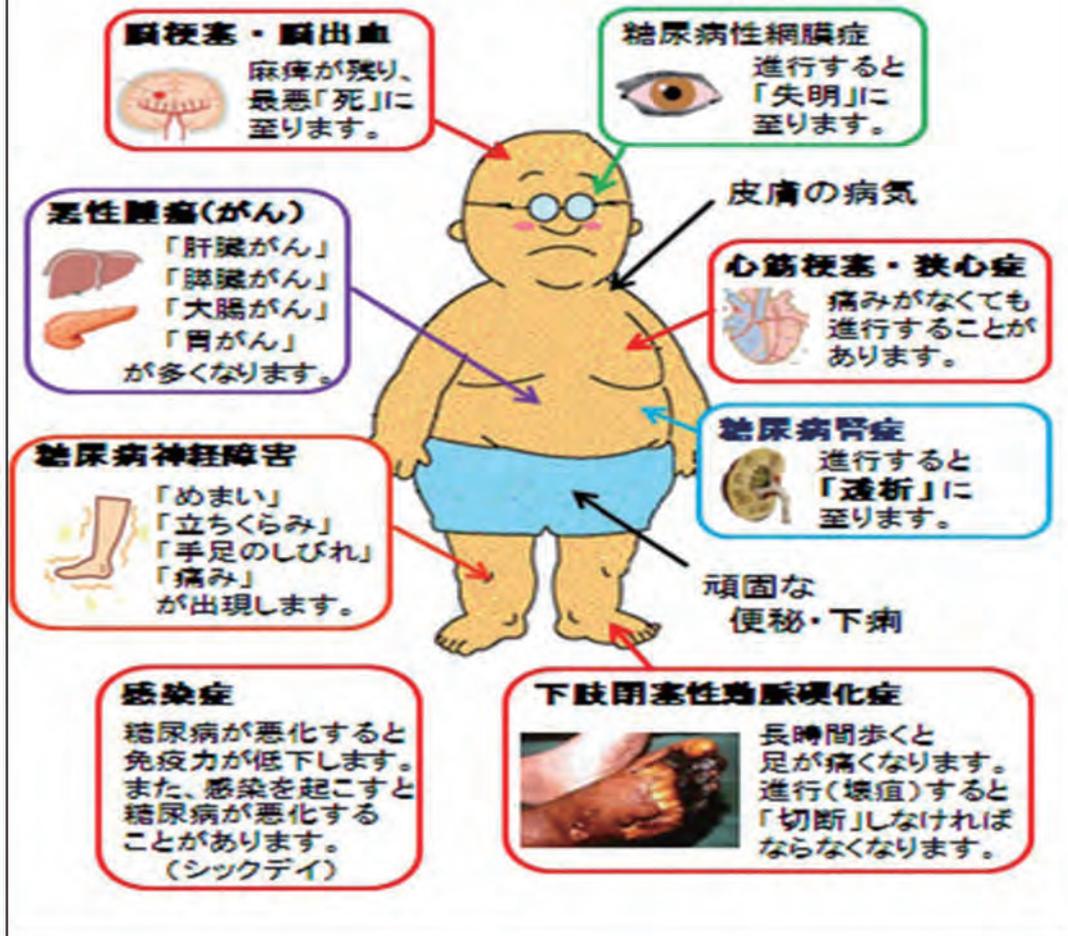
開催日：毎月第2・4水曜日（全6回シリーズ）  
開催時間：13時40分～15時00分  
開催場所：第1会議室（3階）  
講師：東 英司 内科部長 ほか  
お申し込み・お問い合わせ先：（担当 成清）

ぜひ、ご参加  
ください。



## 検査室より

### 糖尿病のこわ～い“合併症”



社会保険直方病院 外来診療のご案内 平成26年1月1日現在

診療時間	午前・午後	月		火		水		木		金		土		備考
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
肝臓内科	坂本 茂 東 宣彦	○		○				○						
消化器内科	松本 真裕			○						○				土曜は新患のみの受付となります
	高橋 誠		○			○								
	中舎 晃男			○		○		○						
	大谷 晃	○						○						
糖尿病・内分泌科	東 英司			○		○		○						専門領域以外の一般内科の診療も致します
循環器内科	平川 晴久	○						○						
	谷口 一成		○							○				
	園田 信成*					○								
	荻ノ沢泰司*			○										
腎臓内科	廣重 欣也*					予約のみ		予約のみ					土曜は一部できない検査があります	
脾臓内科	石橋 俊明*									○	○			
無呼吸症候群	川波 潔*							○						
膠原病内科	廣崎 友里*					○第1・3・5	○第1・3・5							
	田中 淳*					○第2・4	○第2・4							
血液内科	中西 司*									○				
外科	田中伸之介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			土曜は一部できない検査があります
	兒玉(こだま)利勝	○	○			○	○			○	○			
	中川 元道			○	○			○	○					
	野田 晋平	○	○			○	○			○	○			
	和田 義人*			○	○									
	佐々木隆光*					○	○							
当番医*												○		
血管外科	藤岡 宗宏			○				○						
整形外科	西田 智	○		○	予約のみ	○	予約のみ	○	予約のみ	○			休診	午後は予約の患者さんのみの診察となります
	大友 一*					○第2・4	予約のみ							
	塚本 学*	○	予約のみ							○第1・3・5	予約のみ			
	川崎 展*									○第2・4	予約のみ			
泌尿器科	濱崎 隆志	○		○		○		○		○			休診	午後は手術等で休診の時があります
	廣田 賀之*						○							
耳鼻咽喉科	鳥谷(とりや)陽一 九大医師*	○	○	○	○		○	○	○	○			休診	
皮膚科	武石 正昭*		○	休診		○		○		休診		休診		

\*は、非常勤医です。

診療科	受付時間		休診日 (日・祭日)
	午前	午後	
内科・外科	8:30 ~ 11:30	13:30 ~ 16:30 (午後の診療は、診療科によって異なります)	土曜午後
整形外科			土曜
耳鼻咽喉科			土曜
泌尿器科			土曜
皮膚科	8:30 ~ 11:30 (水・木)	13:30 ~ 16:30 (月)	火・金・土曜

\* 診療時間は、午前8:30~12:30、午後13:30~17:00になります。



急患の場合、この限りではありません。  
ご連絡の上、保険証・診察券をお忘れないう、  
気を付けてお越し下さい。

【最寄の交通機関】

- JR福北ゆたか線 直方駅より徒歩 約1分
- 平成筑豊鉄道 直方駅より徒歩 約1分
- 筑豊電鉄 筑豊直方駅より徒歩 約8分
- 西鉄バス 西鉄直方バスセンターより徒歩 約1分
- JRバス 直方駅バス停より徒歩 約1分